

陶芸の味わい方 -土に触って思うこと

世界中で陶芸といえば日本と言われるほど、日本の陶芸は世界中で認められています。作っても鑑賞しても心が癒される陶芸の魅力を考えてみましょう。



©第58回日本現代工芸美術展 (2019)
「大切なもの」南雲龍比古

- 「陶芸」という言葉は私の父十八代南雲龍の若い頃の師である河村蜻山先生によってつくられた言葉である。
- 作品写真を見ながら作者の主張したいことを受け取り陶芸作品を楽しむことを学びます。
(現物も数点ご覧いただく予定です)

- 【講師】** 日本現代工芸美術展審査員・監事 南雲 龍比古氏
【日時】 7月21日・28日(木)全2回 14時～16時
【定員】 18名(応募多数の場合は抽選となります)
【会場】 駒込地域文化創造館 第1会議室
【費用】 1,200円
【締切日】 7月7日(木) 必着

*フォームは右記
二次元コードより



【申込方法】

- **インターネット**：公益財団法人としま未来文化財団ウェブサイト内の当該ページ掲載の申し込みフォーム*に必要事項を入力して申し込み。
- **窓口**：所定申し込み用紙にご記入の上返信用はがき(63円切手貼付)を添えて申し込み。どの地域文化創造でも申し込み可。
- **往復はがき**：①講座番号 ②講座名 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤年齢(年代のみ) ⑥電話番号(在勤・在学の方は勤務先、学校名、住所、所在地、電話番号)をご記入の上当館へ送付。

【問合せ・申込先】

駒込地域文化創造館 〒170-0003
<JR駒込駅北口徒歩2分> 東京都豊島区駒込2-2-2
電話：03-3940-2400

